

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report

2025

9

SEPTEMBER

らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 生理検査研究班の紹介 1
- 地区だより(尾張東地区) 2
- 第23回愛知県医学検査学会を終えて 3
- 特集
第23回愛知県医学検査学会 ... 4
- 令和7年度西三河がんフォーラム 7
- 令和7年度 日臨技中部圏支部研修会
「生物化学分析部門研修会」開催案内 7
- 講演会・研究会・基礎講座 8
- メールアドレス登録のお願い 10
- 愛臨技HP求人情報掲載について 10
- 会員執筆物の紹介原稿募集 ... 10

2025年8月1日現在 正会員数 4,011名

生理検査研究班の紹介

生理検査研究班 班長

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 西脇 啓太

私たち生理検査研究班は、医療現場で行われる生理機能検査の「質の向上」と「標準化」を目指して活動しています。私たちは全研究班の中で最多となる22名の班員で構成され、それぞれの専門性や経験を活かしながら、検査技術や判定基準の精度向上、若手育成に取り組んでいます。施設ごとの手技や運用方法を共有し合い、「うちではこうしてるよ」「そのやり方、わかりやすいね!」と、日々活発な意見交換が行われています。この人数の多さは、情報の多様性を生み出すだけでなく、施設間の垣根を越えた連携やネットワークの構築にも大きな力となっています。

教育活動にも力を入れており、現場で「すぐに使える」知識やスキルの提供を大切にしています。初心者・若手技師向けの基礎講座、外部講師を招いた講演会、現地開催の研究会など、さまざまなレベルに応じたプログラムを企画・運営しています。2025年度は、9月・10月・1月に研究会、12月に基礎講座の開催を予定しており、腹部エコー、呼吸機能、心血管エコーなど、基本から応用までしっかり学べる内容を準備しています。また、愛知県臨床検査精度管理調査(サーベイ)や愛知県臨床検査標準化協議会(AiCCLS)とも連携しながら、検査手技や判定基準の統一、精度管理の強化にも取り組んでいます。これらの活動を通じて、検査の信頼性を高め、地域医療の質の向上に貢献していくことを目指しています。

2026年2月には「中部圏支部生理検査研修会」を開催予定です。テーマは「“わかる”から“できる”へ。実技でスキルを磨こう!」。検査機器に実際に触れ、経験豊富な講師から直接学べる、実技を重視した実践的なプログラムを企画中です。

生理検査研究班は、人数の多さと施設間ネットワークの強みを活かし、教育と標準化の両輪で、地域全体の検査レベル向上に貢献していきたいと考えています。「検査をもっと良くしたい」「他の施設のやり方を知りたい」「若手にもっと学ぶ場を提供したい」そんな思いを持つ方、大歓迎です。私たちと一緒に、生理検査の“これから”をつくっていきませんか?興味のある方はぜひ、生理検査研究班の活動にご参加ください。





愛知医科大学病院は、尾張東部の長久手市に拠点を置き、22の診療科と900床の病床を有する基幹病院です。1974年に創立し、昨年開院50周年を迎えました。2021年には岡崎市の北斗病院の運営を引き継ぐ形で愛知医科大学メディカルセンターを開院し、当院から職員の派遣をしています。当院は第三次救急医療機関であるとともに、救急告示医療機関として第一次、第二次対応の救急車も受け入れています。基幹災害拠点病院として、また特定機能病院として診療・教育・研究のすべての領域において、医療を基盤とした社会貢献をすることを目指しています。

当院の高度救命救急センターでは、24時間対応可能な診療体制を敷いており、広範囲熱傷、四肢切断、急性中毒などの特殊疾病患者を含めた様々な方を受け入れています。2022年にはドクターヘリの運行開始20周年を迎えました。年間あたりの出動回数は概ね350回であり、日々救命のため現場へと駆けつけています。2023年に愛知県初の重症外傷センター試行施設に指定され、2025年8月より本格運用が開始されました。また、東海北陸地方では2施設目となるHybrid ERを導入し、1つのER室内にCT装置、血管造影装置、X線透視、手術室の機能を有することで、迅速な検査や治療を行っています。

ます。昨年度は救急・災害医療における対応力の強化を目指して、老朽化したラピッドレスポンスカーの更新を決断し、クラウドファンディングに挑戦しました。目標金額1300万円に対し、期間内に目標達成することができ、最終的には1700万円を超える支援をしていただきました。

当院臨床検査関連部門は、専門的能力を活かし、質の高い検査サービスを提供することを使命として、日々業務に従事しています。2018年に取得したISO 15189を遵守することで、日々継続的な改善に取り組んでいます。先進的な技術や知識を得るため、学会や研究会への参加をはじめ、研究発表にも取り組み、検査の品質の向上に努めています。

ここで近年の当院におけるトピックスを2つ紹介します。1つめは、昨年に日本で初めてとなるプロジェクトマッピングシステムが搭載されたMRI検査室が増設されました。MRI装置と検査室内の壁一面に自然の風景映像が投影されています。またCT室にはバーチャルウィンドウを導入し、検査室の天井に仮想窓として広がりのある空間を演出しています。

2つめに、今年1月に新たなリハビリテーション医療施設《プロリハ》が開設されました。当施設では、仮想空間で歩いたり走ったりできる「バーチャルリアリティトレッドミルシステム」(GRAIL)や、生体情報センタラルモニタリングシステム、三次元動作分析装置など全国の大学病院で初導入となる「次世代型 Whole Body モニタリングシステム」を備え、患者さんの全身を診ることで状態に合わせた質の高いリハビリ医療(超高度リハ)を提供しています。

当院ではSNSでの情報発信をしています。X(旧Twitter)やInstagram、公式YouTubeチャンネルがありますので、是非一度のぞいてみてください。フォローまたはチャンネル登録も併せてよろしくお願いいたします。



愛知医科大学病院
YouTube



愛知医科大学
X(旧 Twitter)



愛知医科大学
Instagram



プロジェクション
マッピングMRI



プロリハ
紹介

第23回 愛知県医学検査学会を終えて

第23回愛知県医学検査学会は、東三河地区担当として、令和7年6月29日(日)に蒲郡市民会館にて開催され、総参加者数は約600名となり、無事終了いたしました。

本学会のメインテーマは「Well-Being」、サブタイトルは～これからの臨床検査技師へ「継承と改革」～とし、準備を進めてまいりました。昨年秋には中部圏支部医学検査学会が名古屋市で開催され、演題数が十分集まるか心配もありましたが、約50題の演題が集まり、発表者の皆様には心より感謝申し上げます。学会前日および当日は、梅雨の時期にもかかわらず快晴に恵まれ、準備や運営には嬉しい反面、蒸し暑さもあり大変でした。会場は昭和48年生まれの52歳であり、昭和の香りが漂う場所でもありましたことをご了承ください。今回も前回同様、一般演題と特別講演・シンポジウムを同時進行させず、多くの方にご聴講いただけるよう配慮いたしました。また、心臓・腹部エコーのハンズオンを研究班のご協力のもと、午前・午後の2回開催し、研究班の先生方の指導のもと、若手技師の皆様にとって貴重な経験となったことと思います。地区特別講演では、蒲郡市民病院 CEO、城先生による「蒲郡市民病院のデジタル戦略の概要」というタイトルでご講演をいただきました。蒲郡市民病院を中心に、市内の開業医・老人介護施設・薬局・保健センターなどとデジタルで連携し、医療情報共有のメリットや、必要な情報を必要な時に取り出せる仕組みについてご説明いただきました。特に、マイナンバー制度では対応できない画像情報なども活用できる点において、今後の発展に大きな期待が寄せられます。シンポジウムでは、職場を挙げて Well-Being に取り組んでおられる三重大学医学部附属病院の竹内看護師長をお迎えし、愛知県の会員3名とともに、Well-Being や今後の若手技師への継承、改革したいことなどについてわかりやすくお話していただき、大変参考になりました。ランチョンセミナー、機器展示、企業協賛については、多くの企業様のご協力を賜り、誠にありがとうございました。ランチョンセミナーは会場の規模にも関わらず大変好評でした。機器展示では、窓側にカーテンがなく暑さがこもる場面もあり、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。協賛企業の皆様にもご協力いただき、大変感謝しております。

最後に、愛知県、蒲郡市、愛知県医師会、愛知県病院協会にはご後援を賜り、誠にありがとうございました。また、ご指導いただきました愛知県臨床検査技師会役員、研究班の皆様にも心より御礼申し上げます。今後とも東三河地区の発展にご協力をお願い申し上げます。昨年6月からの準備期間は、分からないことだらけでしたが、実行委員18名と実務委員が力を合わせ、知恵を絞りながら各自の役割を確実に果たした結果、今回の成功に繋がったと考えております。東三河地区の結束の強さを改めて実感いたしました。本当にありがとうございました。



第23回医学検査学会 学会長

雪吹 克己

◇学会運営の責任者として…

渡邊 基裕(実行委員長)

第23回愛知県医学検査学会にご参加いただき、ありがとうございました。受付付近の空調に不具合があり、文字通り“熱い”学会となってしまいましたが、皆様のご協力のおかげで、無事に開催することができました。

県学会の実行委員長を拝命した際、最初に思ったのは「どう進めればいいのか？何から始めればいいのか？」という戸惑いでした。県学会マニュアルや前回学会の議事録を確認しながら進めていき



ましたが、手探りの状態で、学会長や事務局長と相談を重ねながら準備を進めました。特にスケジュールの進捗管理には細心の注意を払い、月に一度の実行委員会では、各担当者が細部にまで気を配って準備を進めてくださったおかげで、時間的にタイトな部分もありましたが、大きなトラブルもなく学会当日を迎えることができました。振り返れば、本当にあっという間の一年間でした。多くの方々に支えていただきながら、何とか乗り越えることができました。改めて、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

◇事務局長として学会に携わって…

近藤 泰佳(事務局長)

事務局長という役目を拝命し、「大変だけど、頑張ろう！」と心に決め始めました。ところが早々に壁にぶち当たります。まずは趣意書が理事会を通らず、まさかの“スタート地点に立てない”事態。これはまずいと、実行委員全員が一丸となり再調整。何とかリミットギリギリで承認を得ることができました。

続いては愛知県などへの後援依頼や各企業への協賛依頼、申し込み対応など、一つ終われば次の山。演題登録が始まってでも演題の申込状況もさっぱり。協賛企業もなかなか集まらず、ここで心折れては終わりと、対面やメールで再案内を重ねる日々が続きました。

演題申し込みや協賛企業も目標数に達し一安心したところへ、事務局メールには問い合わせの嵐。「抄録査読後の原稿再提出お願いします。」「参加費支払は課税？不課税？」、「インボイス番号を教えてください。」「透明性ガイドラインの承諾書お願いします。」など聞きなれない単語が次々と飛んできました。

それでも、多くの方に支えられながら、無事に当日を迎えることができました。理事の皆様、実行委員、ご協力いただいた企業のご担当者の方々、そして通常業務を肩代わりしてくれた職場の同僚、どな

たが欠けてもこの学会は成り立たなかったと心から感じています。

事前勉強が足りないこともあり大変でしたが、良い経験をさせていただきました。

そして学会後の今でもついクセで、夜中目が覚めた時や早朝にメールを開いて「今日も問い合わせ来てないかなあ？」と確認してしまいます。

これは学会ロスでしょうか。

◇ハンズオンセミナーを企画して…

神藤 駿・佐藤 比佐代(企画・学術担当)



企画・学術でハンズオンセミナー(心臓超音波検査、腹部超音波検査)を担当させていただきました。準備段階では、学会で行うハンズオンセミナーという事で多くの方に参加していただきたいという思いもありましたが色々制限もあるため時間配分、受講者を何人募集するのかを決めることに苦労いたしました。募集以上の応募者があったため抽選させていただきましたが外れた方には申し訳ない気持ちでいっぱいでした。また、東三河が担当ということもあり、実行委員の病院から被験者をお願いする事にしたのですが、実務

委員も選出されており人員の確保が難しく最後まで決めるのに苦労しました。

当日は、生理検査研究班の先生方のご尽力もあり受講者の方に満足いただけるハンズオンセミナーとなりました。本学会に携わることができ、本当に良かったと思っています。ありがとうございました。

◇学会会計業務を経験して…

平松 慶一(会計担当)

県学会を主催するにあたり、学会は会員皆様の参加費、企業様からの協賛金、愛臨技からの助成金により学会運営が成り立ちます。会計業務はその皆様の大切なお金をお預かりし、如何により良い学会を運営出来るか腕の見せ所です。今回は会場費が低予算で済んだおかげで会計業務は平年に比べ非常にやり易かったと思っています。しかし、会計業務を担当するうえで学会長はじめ実行委員の皆様の協力無くして行うことは非常に困難だったと感じています。

予算立ての際には石神副会長・塚本会計部長に大変お世話になりました。また、前日の準備段階からパスマーケット受付に対し、杉浦理事には非常に苦労をおかけしたと思います。

学会の会計という非常に貴重な体験が出来ました。ありがとうございました。

◇企業展示の運営に携わって…

濱田 智博・真木 義友(機器展示担当)

「企業展示」、多くの参加者の方が楽しみにしている学会ならではのイベントではないでしょうか。当初の募集は15企業でしたが最終的には21もの企業ブースを設けることができました。

今回の展示は学会メイン会場前のロビーで行ったことで、またいつもとは違った雰囲気での開催となりました。今回の企業展示での苦労話としては電源確保につきます。ロビーでの開催と言うことも有り十分なアンペア数の電源を確保するのにとても苦労しました。企業さんから事前に頂いた必要アンペア数と会館から無理矢理準備して頂いたアンペア数をパズルのように組み合わせ、何度も配置を変更し何とか電源を確保することができましたが、「いつ電源が落ちるか判らない」状況の中、担当としてヒヤヒヤの時間を過ごしました。

当日は予想以上の晴天であったため一階のフロアでは日差しがあたり展示機器に影響が出ないか、また小上がりの上の場所は少し照明が暗いかなど、心配ごとはつきませんでした。最後まで大きなトラブルもなく、多くの参加者の方に楽しんで頂けたのではと感じています。

最後に、企業展示に足を運んで頂いた皆様および協賛頂いた企業様はじめ、運営へのご協力を頂いた委員の皆様に感謝申し上げます。

◇地区理事として学会に携わって…

長谷川 正和(地区理事)

本学会は、東三河地区が担当で、学会長のお膝元の蒲郡市で開催いたしました。地区理事として実行委員会へ参加し毎月の会議の内容や進捗状況等を理事会へ報告し、その理事会での意見などを現場へ持ち帰り伝える役割を担ってまいりました。昨年度は愛臨技主催で中部圏支部医学検査学会が開催されたため県学会としては1年スキップした感じでしたので開催まで準備の時間があるなと思っていましたが蓋を開けてみれば毎月色々な課題や修正もありで準備はとても大変な感じでした。それでも、実行委員メンバーと一緒に力を合わせて出来たことで学会当日を無事に迎えることができました。実は、開催2週間前で目標参加者の半数程度の申込み状況でハラハラもしましたが当日には500名の会員の方や多くの賛助会員や学生さんも参加していただき盛況に開催することができました。地区理事として、次回開催の担当地区の方へ円滑にバトンタッチをすると共にご協力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。



愛知県臨床検査技師会 生涯教育認定登録団体研究会のご案内

令和7年度 西三河がんフォーラム

基礎教科：

日 時：令和7年10月1日(水) 18:00～19:00

場 所：安城更生病院 南棟2階 第2講堂

テ ー マ：「今、考えるオピオイド選択～ Update すべきことと忘れてはいけないこと～」

講 師：東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部

緩和ケア診療部長 住谷 昌彦 先生

司 会：安城更生病院 緩和ケア内科

緩和ケア内科代表部長 沖 哲

参 加 費：無料

内 容： 当院は地域がん診療連携拠点病院として、がん治療の三大療法である手術療法、放射線治療、化学療法に力を入れています。がんと診断を受けた患者さんの、すべての診療を当院で完結でき、患者さん・ご家族が最小限の不安で過ごせるよう最大限支援するのが、安城更生病院のがん診療センターです。

今回の西三河がんフォーラムは、東京大学医学部附属病院の住谷先生に講演していただき、西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に緩和ケアについて学びます。

令和7年度 日臨技中部圏支部研修会

「生物化学分析部門研修会」開催案内

主催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部／実務担当技師会：石川県臨床検査技師会

【テ ー マ】「知っているだけで違う！検査結果の“読み解き方”」

【日 時】令和7年12月13日(土) 13:00～14日(日) 12:00

【場 所】石川県立中央病院 3階 会議室1(石川県金沢市鞍月東2丁目1番地)

【定 員】80名(事前参加登録制)

【申込期間】令和7年9月1日(月)～令和7年11月10日(月)

【受 講 料】日臨技会員 7,000円(10%税込)

研修会の詳細は日臨技 HP 支部情報からご確認ください。

講演会

愛臨技会員：無料
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)
県外会員：500円(消費税10%含む)

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：10月18日(土) 15:00～17:30

参加方法：日臨技 HP から事前登録

9月1日(月)～10月18日(土)

定員：100名

開催方法：現地開催

場所：日本赤十字社 愛知医療センター名古屋
第二病院 加藤化学カンファレンスホール(1病棟10階)

テーマ：血液疾患を多面的に捉えるために：
検査技師が果たす役割とは？

講師：

1.「寒冷凝集素症診療の最前線

～鑑別診断から最新治療まで～」

レコルダティ・レア・ディジーズ・ジャパン株式会社
血液／腫瘍事業本部 西日本営業部
奥村 美聡

2.「骨髄検査で検査技師が果たす役割」

小牧市民病院 小川有里子

3.「悪性リンパ腫を中心とした血液疾患の

遺伝子異常と診断への応用」

藤田医科大学 医学部 血液内科学 教授 冨田 章裕

司会：藤田医科大学病院 水谷 有希

内容：講演1では稀な疾患である寒冷凝集素症について疾患の詳細から治療までご講演いただきます。講演2では骨髄検査を実施している臨床検査技師の立場から主に悪性リンパ腫の骨髄浸潤を評価する上でのポイントについて解説いただきます。講演3では、悪性リンパ腫をはじめとした遺伝子異常が診断にどのように活用されているか、さらに血液内科医の立場から検査技師に求めることをご講演いただきます。

今回の講演会を通して、血液疾患の診療に検査技師がどのように介入できるか、どのようなことが求められているかを知り、業務のモチベーションアップにつなげていただけたらと思います。

皆様のご参加をお待ちしております。

研究会

愛臨技会員：無料
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)
県外会員：500円(消費税10%含む)

輸血検査研究班

専門教科：20点

日時：令和7年10月11日(土) 15:00～17:30

参加方法：日臨技 HP から事前登録

9月1日(月)～10月11日(土)

定員：50名

開催方法：現地開催

場所：アーバンネット名古屋ビル20階
リップルスクエア

テーマ：血液製剤の取り扱いについて

講師：

1.「RBCの分割製剤の運用について」

あいち小児保健医療総合センター 石原 広大

2.「院内洗浄製剤について」

藤田医科大学病院 小嶋 隼人

3.「クリオプレシピテートについて」

JA 愛知厚生連 安城更生病院 石川 雅樹

司会：日赤愛知医療センター名古屋第一病院 二村 亜子

内容：昨今、輸血療法を受ける患者は多岐にわたり輸血管理部門として個別に対応することが求められています。例えば、小児や新生児への輸血の際は分割製剤を使用し、重症アレルギー反応を呈する症例では製剤を洗浄操作することで、より一層適正な輸血療法を実現できるものとされています。さらに、フィブリノゲンを豊富に含むクリオプレシピテートについては臨床からのニーズも増えています。本研究会では、院内調製製剤(血液製剤の分割、院内洗浄製剤、クリオプレシピテート)について各施設の運用をお話します。院内調製の導入を検討されている方のみならず、すでに院内導入されている方にとっては運用の見直しに最適な研究会です。多くの方のご参加をお待ちしています。

※事前参加登録無しでの当日参加も可能ですが、定員に達した場合は事前登録者優先となり、当日参加をお断りする場合がございます。

生理検査研究会

専門教科：20点

日時：10月18日(土) 15:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
9月1日(月)～10月18日(土)

定員：200名

開催方法：現地開催

場所：日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院 研修ホール

テーマ：「呼吸機能検査を総ざらいしよう」

講師：

1. 「スクリーニングから精密呼吸機能検査までを
総まとめ」
名古屋大学医学部附属病院 藤澤 嘉朗

2. 「FeNO および心肺運動負荷試験を基礎から学ぼう」

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 鈴木 都
司 会：国家公務員共済組合連合会 名城病院

及川 和紀

今回は呼吸機能検査の総ざらいと称して、日常業務で行うスクリーニング検査から運動負荷試験やFeNOといった幅広い内容となっています。これから覚えたい方から普段検査を行っている方まで今後の業務に役立つ内容となっているので、多くの方の参加をお待ちしております。

事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

基礎講座

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：10月19日(日)
10:00～16:00(受付9:40～)

参加方法：日臨技 HP から事前登録
9月1日(月)～26日(金)

対象：愛知県臨床検査技師会 会員

定員：40名

参加費用：2,500円
(10%税込:PassMarket にて事前支払い)
PassMarket チケット購入用 URL は事前申込締切後、申込者へメールにて配信

開催方法：現地開催

場所：リップルスクエア
アーバンネット名古屋ビル20F

テーマ：臨床検査技師に知っておいてほしいアレコレ

講師：

1. 「臨床検査技師に知っておいてほしい統計」
愛知医科大学 臨床研究支援センター 准教授 大橋 渉
2. 「知っておきたい生化学測定的基础とバリデーション」
積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター
学術企画グループ 高田真由美

3. 「試薬切替え、学会発表前提の試薬性能の

検討手法の基礎」

シスメックス株式会社 カスタマーサポート部

学術サポートグループ 柴田 宏

4. 症例検討(グループディスカッション)

藤田医科大学 岡崎医療センター 田中 亜希

新城市民病院 工藤 雄貴

司 会：愛知医科大学病院 森部 龍一

春日井市民病院 衛藤麻理子

豊橋市民病院 佐藤 令奈

内容：本基礎講座では、統計専門の先生をお招きし、検査技師向けの統計手法を基礎から実践まで解説いただきます。また、試薬の基礎的検討について各メーカーから検討方法や注意点、各検査法の特徴など詳しくお話しいたします。最後には、提示されたデータから考えうる症例、必要な追加検査についてグループで議論します。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らばニュース』Web版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らばニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP